



深川交通安全情報

ストップ・ザ・交通事故

令和8年1月13日

深川警察署

交通課

R8年第4号

視界不良時の運転について

出発前に

- ① 車両運行は計画的に！
 - ・ 余裕を持った予定を立て、予定到着時刻やルートを家族や訪問先に知らせておきましょう。
 - ・ 目的地までの天候や道路状況をテレビやラジオなどで確認しましょう。
 - ・ 天候が悪化した際は、出発時間の変更や公共交通機関の利用を検討しましょう。
- ② 状況によっては出かけるのをやめることも必要です。
 - 万が一に備えましょう！
 - ・ 防寒服、毛布やカイロ、飲み物や非常食、スコップなどを車に準備しましょう。
 - ・ 携帯電話は充電しておきましょう。

走行中に

- ① 天候が悪いときは無理をしない！
 - ・ 天候が悪いときはこまめに「道の駅」やパーキングエリアなどで休憩し、無理のない運転をしましょう。
- ② スピードダウン・ライト点灯・車間距離の保持！
 - ・ スピードの出し過ぎは厳禁です。
 - ・ 視界が悪いと距離感が狂い先行車が実際より遠くに見えますので、車間距離は十分にとりましょう。
 - ・ 相手に自分の存在を知らせるためにライトを点灯しましょう。
- ③ 安全な場所に止まって雪を落とす！
 - ・ ヘッドライトやテールランプに雪が付いていると相手から見えにくくなりますので、道路から離れた安全な場所で雪を落としましょう。
- ④ 走行中に視界が悪くなったら・・・
 - ・ できるだけ安全な場所に車を停止し、ハザードランプを点灯し他車に停止していることを知らせましょう。

もしも吹雪で動けなくなったら

- ・ 車から離れない！
- ・ ハザードランプを点灯させて停止していることを他車に知らせる！
- ・ 原則はエンジン停止！
 - 車に雪が埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性があります。
 - 防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、排気管出口（マフラー）を確実に大気へ開放し、埋没させないようにしましょう。



吹き溜まりにも注意を

注意

CAUTION

視界不良により前方だけに気を取られると、足下の吹き溜まりにハンドルを取られ、まっすぐに走れなくなることもあります。

～めざせ 安全で安心な北海道～